



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 8 年度
施設機能保全検討調査
出水平野地区水管理施設整備検討業務

積 算 書
(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

事業名	施設機能保全検討調査					
業務名	出水平野地区水管理施設整備検討業務					
業務別業務名:設計業務						
名 称 (規 格)		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接人件費					16,197,000	
・ 直接人件費		1.000	式		16,197,000	
・ ・ 直接人件費		1.000	式		16,197,000	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	1,546,000	1,546,000	1 式当たり
S63007	1-1.現地調査 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,4.00人,0.00人	1.000	式	759,400	759,400	歩A・単A S単 19号
S63003	1-2.施設管理者への問診調査 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人	1.000	式	294,700	294,700	歩A・単A S単 1号
S63003	1-3.資料の検討 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 2号
合 計					1,545,700	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	1,709,000	1,709,000	1 式当たり
S63003	2-1.光ケーブル設置検討調査 0.00人,0.00人,3.00人,6.00人,6.00人,6.00人,0.00人	1.000	式	1,139,100	1,139,100	歩A・単A S単 3号
S63003	2-2.携帯電話等電波状況調査 0.00人,0.00人,1.50人,3.00人,3.00人,3.00人,0.00人	1.000	式	569,550	569,550	歩A・単A S単 4号
合 計					1,708,650	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	2,304,000	2,304,000	1 式当たり
S63003	3-1.水管理制御システム 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	337,200	337,200	歩A・単A S単 5号
S63003	3-2.本地区の水管理制御方式 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 6号
S63003	3-3.データ伝送方式及び伝送路 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 7号
S63003	3-4.計測制御方式 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 8号
S63003	3-5.中央管理制御システム 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 9号
合 計					2,303,600	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	3,728,000	3,728,000	1 式当たり
S63003	4-1.データ伝送方式及び伝送路 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	674,400	674,400	歩A・単A S単 10号
S63003	4-2.被管理施設 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,10.00人,10.00人,0.00人	1.000	式	1,372,800	1,372,800	歩A・単A S単 11号
S63003	4-3.中央管理制御施設 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,8.00人,8.00人,0.00人	1.000	式	1,189,200	1,189,200	歩A・単A S単 12号
S63003	4-4.機器仕様 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	491,600	491,600	歩A・単A S単 13号
合 計					3,728,000	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	3,286,000	3,286,000	1 式当たり
S63003	5.実施設計書の作成 0.00人,0.00人,2.00人,8.00人,16.00人,16.00人,32.00人	1.000	式	3,285,800	3,285,800	歩A・単A S単 14号
合 計					3,285,800	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	491,000	491,000	1 式当たり
S63003	6.概算工事費算定 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.00人,2.00人,4.00人	1.000	式	491,050	491,050	歩A・単A S単 15号
合 計					491,050	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	1,546,000	1,546,000	1 式当たり
S63003	7.国営事故防止事業計画書(案) 0.00人,0.00人,1.50人,5.00人,10.00人,8.00人,8.00人	1.000	式	1,545,950	1,545,950	歩A・単A S単 16号
合 計					1,545,950	
・ ・ ・ 設計作業費		1.000	式	177,000	177,000	1 式当たり
S63003	8.照査 0.00人,0.00人,2.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人	1.000	式	177,250	177,250	歩A・単A S単 17号

[illegible]

[illegible]

事業名	施設機能保全検討調査					
業務名	出水平野地区水管理施設整備検討業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	*** S単ー 1号 *** 1-2.施設管理者への問診調査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人		式	294,700		歩A・単A
S63003	*** S単ー 2号 *** 1-3.資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 3号 *** 2-1.光ケーブル設置検討調査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,6.00人,6.00人,6.00人,0.00人		式	1,139,100		歩A・単A
S63003	*** S単ー 4号 *** 2-2.携帯電話等電波状況調査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,3.00人,3.00人,3.00人,0.00人		式	569,550		歩A・単A
S63003	*** S単ー 5号 *** 3-1.水管理制御システム					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人		式	337,200		歩A・単A
S63003	*** S単ー 6号 *** 3-2.本地区の水管理制御方式					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 7号 *** 3-3.データ伝送方式及び伝送路					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 8号 *** 3-4.計測制御方式					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 9号 *** 3-5.中央管理制御システム					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 10号 *** 4-1.データ伝送方式及び伝送路					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人		式	674,400		歩A・単A
S63003	*** S単ー 11号 *** 4-2.被管理施設					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,10.00人,10.00人,0.00人		式	1,372,800		歩A・単A
S63003	*** S単ー 12号 *** 4-3.中央管理制御施設					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,8.00人,8.00人,0.00人		式	1,189,200		歩A・単A
S63003	*** S単ー 13号 *** 4-4.機器仕様					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人		式	491,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 14号 *** 5.実施設計書の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,8.00人,16.00人,16.00人,32.00人		式	3,285,800		歩A・単A
S63003	*** S単ー 15号 *** 6.概算工事費算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.00人,2.00人,4.00人		式	491,050		歩A・単A
S63003	*** S単ー 16号 *** 7.国営事故防止事業計画書(案)					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,5.00人,10.00人,8.00人,8.00人		式	1,545,950		歩A・単A
S63003	*** S単ー 17号 *** 8.照査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	177,250		歩A・単A
S63003	*** S単ー 18号 *** 9.点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.50人,3.50人,1.00人,0.00人		式	575,950		歩A・単A
S63007	*** S単ー 19号 *** 1-1.現地調査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,4.00人,0.00人		式	759,400		歩A・単A
S63007	*** S単ー 20号 *** 基準日額 (現地調査)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,0.50人,0.50人,0.00人		式	112,650		歩A・単A
S63010	*** S単ー 21号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種・着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57日		回	142,845		歩A・単A
S63010	*** S単ー 22号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額)					

[illegible]

事業名	施設機能保全検討調査
業務名	出水平野地区水管理施設整備検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S63003	1-2.施設管理者への問診調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
	合 計				294,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		294,700	
	*** S単- 2号 ***					
S63003	1-3.資料の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単- 3号 ***					
S63003	2-1.光ケーブル設置検討調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,6.00人,6.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師 (A)	6.000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)	6.000	人	42,500	255,000	
	合 計				1,139,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,139,100	
	*** S単- 4号 ***					
S63003	2-2.携帯電話等電波状況調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,3.00人,3.00人,3.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.50人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	3.00人 3.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.500	人	70,900	106,350	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	42,500	127,500	
	合 計				569,550	算出数量 1.000 式
	単 価		式		569,550	
	*** S単一 5号 ***					
S63003	3-1.水管理制御システム		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		1.000	人	42,500	42,500	
	合 計				337,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		337,200	
	*** S単一 6号 ***					
S63003	3-2.本地区の水管理制御方式		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	3.00人 2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単一 7号 ***					
S63003	3-3.データ伝送方式及び伝送路		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単一 8号 ***					
S63003	3-4.計測制御方式		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単一 9号 ***					
S63003	3-5.中央管理制御システム		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単一 10号 ***					
S63003	4-1.データ伝送方式及び伝送路		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				674,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		674,400	
	*** S単— 11号 ***					
S63003	4-2.被管理施設		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,10.00人,10.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師 (B)					
		10.000	人	49,300	493,000	
R04006	技師 (C)					
		10.000	人	42,500	425,000	
	合 計				1,372,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,372,800	
	*** S単— 12号 ***					
S63003	4-3.中央管理制御施設		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,8.00人,8.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師 (B)					
		8.000	人	49,300	394,400	
R04006	技師 (C)					
		8.000	人	42,500	340,000	
	合 計				1,189,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,189,200	
	*** S単— 13号 ***					
S63003	4-4.機器仕様		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				491,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,600	
	*** S単— 14号 ***					
S63003	5.実施設計書の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,8.00人,16.00人,16.00人,32.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	16.00人				
	6)技師Cの人数	16.00人				
	7)技術員の人数	32.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		8.000	人	62,600	500,800	
R04005	技師 (B)					
		16.000	人	49,300	788,800	
R04006	技師 (C)					
		16.000	人	42,500	680,000	
R04007	技術員					
		32.000	人	36,700	1,174,400	
	合 計				3,285,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		3,285,800	
	*** S単— 15号 ***					
S63003	6.概算工事費算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.00人,2.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
R04007	技術員					
		4.000	人	36,700	146,800	
	合 計				491,050	算出数量 1.000 式
	単 価		式		491,050	
	*** S単— 16号 ***					
S63003	7.国営事故防止事業計画書(案)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,5.00人,10.00人,8.00人,8.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	施設機能保全検討調査					
業務名	出水平野地区水管理施設整備備検討業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師					
		1.500	人	70,900	106,350	
R04004	技師（A）					
		5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師（B）					
		10.000	人	49,300	493,000	
R04006	技師（C）					
		8.000	人	42,500	340,000	
R04007	技術員					
		8.000	人	36,700	293,600	
	合 計				1,545,950	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,545,950	
	*** S単一 17号 ***					
S63003	8.照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.50人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.500	人	70,900	177,250	
	合 計				177,250	算出数量 1.000 式
	単 価		式		177,250	
	*** S単一 18号 ***					
S63003	9.点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.50人,3.50人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.50人				
	5)技師Bの人数	3.50人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師（A）					
		3.500	人	62,600	219,100	
R04005	技師（B）					
		3.500	人	49,300	172,550	
R04006	技師（C）					
		1.000	人	42,500	42,500	
	合 計				575,950	算出数量 1.000 式
	単 価		式		575,950	
	*** S単一 19号 ***					
S63007	1-1.現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04003	主任技師					
	外業	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
	外業	4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
	外業	4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
	外業	4.000	人	42,500	170,000	
	合 計				759,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		759,400	
	*** S単一 20号 ***					
S63007	基準日額 (現地調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,0.50人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	62,600	31,300	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.500	人	49,300	24,650	
R04006	技師 (C)					
	外業	0.500	人	42,500	21,250	
	合 計				112,650	算出数量 1.000 式
	単 価		式		112,650	
	*** S単一 21号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.570日				
R04003	主任技師					
		1.070	人	70,900	75,863	
R04004	技師 (A)					
		1.070	人	62,600	66,982	
	合 計				142,845	算出数量 1.000 回
	単 価		回		142,845	
	*** S単一 22号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,2.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	2.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.570日				
R04003	主任技師					
		2.140	人	70,900	151,726	

事業名 施設機能保全検討調査						
業務名 出水平野地区水管理施設整備検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R04004	技師 (A)	1.070	人	62,600	66,982	
	合 計				218,708	算出数量 1.000 回
	単 価		回		218,708	
	*** S単一 23号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.57日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.570日				
R04004	技師 (A)	1.070	人	62,600	66,982	
R04005	技師 (B)	1.070	人	49,300	52,751	
	合 計				119,733	算出数量 1.000 回
	単 価		回		119,733	
	*** S単一 24号 ***					
S63024	業務報告書作成 (その他)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	業務報告書作成 (その他) 1,A-4以下,1000,1,A-4以下,厚手 (金文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書焼付部数(部)	1		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)報告書規格区分	A-4以下		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)原稿枚数区分(枚)	1000		深夜時間:0.0		
	4)表紙部数 (部)	1				
	5)表紙規格区分	A-4以下				
	6)表紙区分	厚手 (金文字入)				
P43504	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 1000枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43450	報告書表紙代 厚手 (金文字入) A-4	1.000	部	6,170	6,170	
	合 計				18,870	算出数量 1.000 式
	単 価		式		18,870	
	*** S単一 25号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ (設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ内容	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員	1人		深夜時間:0.0		
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	10)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金 1式当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当 1式当料金 (税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	160	1,728	

事業名	施設機能保全検討調査
業務名	出水平野地区水管理施設整備検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				10,978	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,978	
	*** S単一 26号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	2人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金（税別）	6,690円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金 1 式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	160	1,728	
	合 計				10,978	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,978	
	*** S単一 27号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金（税別）	6,690円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金 1 式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	160	1,728	
	合 計				10,978	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,978	
	*** S単一 28号 ***					
S63034	《旅費交通費（設計外業宿泊用）》		式		1.000 式	歩A 当たり算出

[illegible]

令和8年度 施設機能保全検討調査
出水平野地区水管理施設整備検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

第1－1条（適用範囲）

令和8年度 施設機能保全検討調査 出水平野地区水管理施設整備検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、N T T回線廃止に伴う国営土地改良事業「出水平野地区」で造成された水管理施設の実施設計、施設整備計画に基づく国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）の作成を行うものである。

第1－3条（場所）

本業務における対象施設の場所は、鹿児島県出水市地内で、別添位置図に示すとおりである。

第1－4条（土地への立入り等）

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1－16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1－5条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1－6条（管理技術者）

1. 管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木
		農業－農業農村工学
		電気電子－電子応用
		電気電子－情報通信
	電 気 電 子	農業－農村地域・資源計画
		農業－農村地域計画
		電子応用、情報通信
	農 業	農業土木、農業農村工学
		農村地域・資源計画
		農村地域計画
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	電気電子	
	農業土木	

第1－7条（照査技術者）

1. 照査技術者は、共通仕様書第1－7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
		電気電子－電子応用 電気電子－情報通信
		農業－農村地域・資源計画
		農業－農村地域計画
	電気電子	電子応用、情報通信
	農 業	農業土木、農業農村工学
		農村地域・資源計画
		農村地域計画
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	電気電子	
	農業土木	

2. 共通仕様書第1－7条第4項でいう。監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 業務計画作成段階
- (2) 通信網状況調査段階
- (3) 実施設計・概算工事費積算段階
- (4) 総費用・総便益の作成及び国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成段階
- (5) 報告書作成段階
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1－8条（担当技術者）

担当技術者は共通仕様書第1－8条によるものとする。

第1－9条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1－10条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2－1条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	水管理制御方式技術指針（計画設計編）	（一社）農業土木機械化協会	令和6年10月
2	電気設備計画設計技術指針（高低圧編）	（一社）農業土木機械化協会	令和元年9月
3	[改訂版]新たな土地改良の効果算定マニュアル	大成出版社	平成27年9月
4	国営土地改良調査計画マニュアル	（公社）農業土木事業協会	平成6年6月
5	農業農村整備事業計画作成便覧	（株）地球社	平成15年8月
6	国営土地改良事業計画書の記載方法	農林水産省農村振興局	令和5年8月

第2-2条（作業条件）

本業務の実施に当たっての設計条件は、次のとおりである。。

1. 設備の導入目的

本地区の水管理施設は、施設管理者との調整や立ち会い等が必要なため、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。

2. 管理対象施設

本業務の対象となる施設については、別紙1出水平野地区水管理施設一覧表による。

3. 現地調査の結果、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

4. 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第2-3条（対象施設）

本業務の対象となる施設等詳細は別紙1出水平野地区水管理施設一覧表による。

1. 本業務は、水管理施設の通信回線の更新及び、水管理施設の老朽化に伴う更新計画を想定するものとするが、別紙2-1国営事故防止事業計画（緊急防災等工事計画書（案））については、水管理施設の通信回線の更新のみ対象とする。

2. 通信回線の更新は、NTT専用回線を対象とする。

第2-4条（参考図書）

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名称	発 行 所	制定(発行)年月
1	設計便覧（案）第4編電気・通信編	近畿地方整備局 HP	平成24年4月
2	配電盤・制御盤の耐震設計指針 （JEM-TR144）	（一社）日本電機工業会	平成29年3月
3	建築設備耐震設計・施工指針	（一社）日本建築センター	平成26年9月
4	建築電気設備の耐震設計・施工マニュアル	（一社）日本電設工業会 （一社）電気設備学会	平成28年1月
5	電気通信施設設計要領・同解説書（電気編）	（一社）建設電気技術協会	平成29年3月

6	電気通信施設設計要領・同解説書（通信編）		令和5年3月
7	雷害対策設計施工要領（案）・同解説		平成31年4月
8	耐雷対策設計ガイド	（一社）日本雷保護システム工業会	平成28年1月

第2－5条（貸与資料等）

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数 量
1	土地改良施設整理台帳付属図面	1部
2	出水平野地区事業誌、事業成績書等	1部
3	国営出水平野土地改良事業 事業計画書、変更計画書	1部
4	平成25年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 出水平野地区 導水路他機能診断調査業務 報告書	1部
5	平成25年度 国営施設応急対策事業 出水平野地区 事業計画作成その他業務 報告書	1部
6	令和7年度 地域整備方向検討調査 出水平野地域 整備構想補足検討業務 報告書	1部
7	県営基幹水利施設補修事業 出水平野地区 10-1 工区完成図書 (NTT専用回線局図面)	1部
8	県営基幹水利施設補修事業 出水平野地区 10-1 工区完成図書 (NTT専用回線 TM/TC親局装置取説)	1部
9	県営基幹水利施設補修事業 出水平野地区 10-1 工区完成図書 (NTT専用回線 TM/TC子局装置取説)	1部
10	県営基幹水利施設補修事業 出水平野地区 11-1 完成図書	1部

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

第2－6条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2－4条、第2－5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、作業中に改訂された場合は監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2－7条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

番号	業務名	業務実施期間（予定）
1	令和7年度 地域整備方向検討調査 出水平野地域整備構想補足他業務	令和8年5月～令和9年3月（予定）

第3章 作業内容

第3－1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は、別紙1 出水平野地区水管理施設一覧表、別紙2－1【作業項目内訳表】水管理制御設備実施設計、別紙2－2【国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成等内訳表】に示すものとする。

【作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 通信網状況調査	1 式	
3. 基本事項の検討	1 式	高川ダム機側操作盤（洪水吐き、取水、放流バルブ）除く
4. 実施設計	1 式	
5. 実施設計書の作成	1 式	高川ダム機側操作盤（洪水吐き、取水、放流バルブ）除く
6. 概算工事費算定	1 式	
7. 国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成	1 式	
8. 照査	1 式	
9. 点検取りまとめ	1 式	

第3－2条（作業の留意点）

業務の実施に当たって、特に留意する点は次のとおりとする。

- （1）設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに、維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- （2）電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- （3）第2－1条、第2－4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- （4）施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するのみとする。
- （5）当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書の中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。

なお、コスト縮減に関する新技術や機能保全対策シナリオの検討に当たっては、最新の新素材、新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、<https://www.nn-techinfo.jp>を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）については、<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>を参照。
- （6）数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・「工事工種の体系化」は、https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照
 - （7）通信網状況調査は、事前に調査方法について監督職員の承諾を得るものとする。
 - （8）費用対効果の算定に当たっては、貸与資料を十分に確認・把握したうえ作業を進めるものとする。なお、既存資料に不明な点等が生じた場合は監督職員と打合せを行うものとする。

第3－3条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時、最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、

次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項及び「業務の成果品質確保対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解の上、対応するものとする。

（１）業務確認会議

業務着手時に管理技術者・担当技術者並びに事業所長、次長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が設計方針、条件等の確認を一同に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

ア 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ① 設計条件・前提条件
- ② 業務計画の妥当性
- ③ スケジュール
- ④ 設計変更内容
- ⑤ その他：事業間連携、資材選定チェック、コスト縮減、環境対策等の促進等

イ 会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督職員と協議するものとし規定の打合せ以外に催す場合の費用については、必要に応じて設計変更で計上する。

（２）照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

（３）当該業務成果による工事発注の際に、別途工事に対する「工事の施工効率向上対策」（農水省webサイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。

なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

（４）業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し相互に確認するものとする。

第３－４条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト）」（URL<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、（１）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4-1条 (打合せ)

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(通信網状況調査段階)

第3回 中間打合せ(実施設計・概算工事費積算段階)

第4回 中間打合せ(総費用・総便益の作成段階及び国営事故防止事業計画書(緊急防災等工事計画書)(案)作成段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R)正副2部

2. 成果物の出力2部(黒色(JIS Z8102:2001に規定する色No.269)表紙、金文字製本)

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

第5-2条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町 4778-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。

2. 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。

3. 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。

4. 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。

5. 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
6. 履行期間の変更が生じた場合。
7. 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
8. その他

第6-2条（業務スライドの試行）

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて（試行）」（令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知）（URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」）に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費（業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後残業務費（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。
この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
- (6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適当となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
- (7) (6)の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (8) (4)及び(7)の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。
ただし、発注者が(2)、(6)の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1)に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

第7-1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じ監督職員と協議するものとする。

別紙1 出水平野地区 水管理施設一覧表

【出水平野地区水管理施設】（ダム系）

施設名	機器名称	規格	備考
こうがわ 高川ダム管理所 テレメータ設備（親局）	無線装置	71.73 MHz 単信無線回線	
	雨量計		
	TM/AL 親局装置		
	放流警報操作卓		1999 製
	TM/AL 記録プリンター		1999 製
	有線 AL 親局装置		
	サイレン制御盤		1998 製
	サイレン		
	スピーカ		
	集音マイク		
	入出力処理装置（2）		
	放流バルブ	機側操作盤	本業務対象外
	表面取水ゲート	機側操作盤	同上
	テンターゲート	機側操作盤	同上
	ダム遠隔操作卓（ミグレ付）		1999 製
	気象観測装置		
	雨量計		
	電機式温度計		
いけつる 池鶴水位局	無線装置（アンテナ3素子）	71.73 MHz 単信無線回線	
	配電盤（分電盤）		1999 製
	AL 子局装置		1999 製
	蓄電池収納盤	アルカリ蓄電池	2008 製
	同軸避雷器		
	配電盤（太陽電池）		
	水位計		
	パンザマスト		
	太陽電池		
	局舎	2.82×2.02×H2.51	
くずひら 崩平雨量局	無線装置（アンテナ3素子）	71.73 MHz 単信無線回線	
	配電盤（分電盤）		1999 製
	雨量記録計		
	AL 子局装置		1999 製
	蓄電池収納盤	アルカリ蓄電池	2013 製
	同軸避雷器		
	雨量計（発信機）		
	パンザマスト		
	太陽電池		
	局舎	2.82×2.02×H2.51	
たばる 田原水位局	無線装置（アンテナ3素子）	71.73 MHz 単信無線回線	
	配電盤（分電盤）		
	耐雷トランス	0.5kva	1999 製
	AL 子局装置		1999 製
	直流電源装置	アルカリ蓄電池	1999 製

	分電盤		
	同軸避雷器（空中線）		
	水位計（長期自記気水位計）		2008 製
	パンザマスト		
	水位計通信ケーブル		
	局舎	2. 82×2. 02×H2. 51	
ひろせ 広瀬警報局	無線装置（アンテナ3 素子）	71. 73 MHz 単信無線回線	
	動力制御盤		
	同軸避雷器		
	サイレン制御盤		1998 製
	分電盤		
	耐雷トランス	0. 5kva	1998 製
	AL 子局装置	放流警報、無線機、	1999 製
	直流電源装置（通信用）	アルカリ 蓄電池	1999 製
	パンザマスト		
	スピーカ		
	サイレン	5. 5kw	
	集音マイク	25w×4	
	局舎	2. 82×2. 02×H2. 51	
ろくがつた 六月田警報局	無線装置（アンテナ3 素子）	71. 73 MHz 単信無線回線	
	動力制御盤		
	同軸避雷器		
	サイレン制御盤		1998 製
	分電盤		
	耐雷トランス	0. 5kva	1999 製
	AL 子局装置	放流警報、無線機、	1999 製
	直流電源装置（通信用）	アルカリ 蓄電池	1999 製
	パンザマスト		
	スピーカ	25w×4	
	サイレン	5. 5kw	
	集音マイク		
	局舎	2. 82×2. 02×H2. 51	

【出水平野地区水管理施設】（NTT 回線系）

施設名	機器名称	規格	備考
こうがわ 高川ダム管理所 TM/TC（親局）	入出力処理装置（1）		
	用水管理（電源監視）操作卓	2000 製	
	耐雷トランス	1999 製	
	無停電電源装置	1999 製	
ごまんごく 五万石頭首工局	TM/TC 子局装置		NTT 専用回線、1999 製
	（耐雷トランス）		1998 製
	制御盤（動力計装）	土砂吐 G、取水 G	1999 製
	除塵機操作盤		
	水位計（取水）		
	河川水位計		
	遠方操作盤		

	非常用発電機		
	燃料タンク		
	局舎		
おきたおおいで 沖田大井手頭首工局	TM/TC 子局装置		NTT 専用回線、1999 製
	(耐雷トランス)		1998 製
	制御盤 (動力計装制御盤)	河川水位、取水水位 土砂吐 G 開度、取水開 度、洪水吐 G 開度	
	取水 G 機側操作盤		
	フロート水位計 (河川)		
	水位計 (取水)		
	非常用発電機		
	油圧操作盤		
	引込開閉器盤		
	局舎		
ろくがつた 六月田頭首工局	TM/TC 子局装置		NTT 専用回線、2008 製
	(耐雷トランス)		2008 製
	遠方操作盤 (取水 G)	洪水吐 SR G	2013 製
	配電盤		2013 製
	洪水吐 SR G 遠方操作盤		
	空気制御盤		
	遠方操作盤 (取水 G)		2012 製
	遠方操作盤 (洪水吐 SR G)		
	自家用発電機		
	保安機器		
	機側操作盤 (右岸)		
	河川水位計 (右岸)		
	取水路水位計 (右岸)		
	機側操作盤 (左岸取水 G)		
	取水路水位計 (左岸)		
	局舎 (左岸)		
	監視カメラ		
	引込開閉器盤		
	電話保管器、		
おぼろ 小原揚水機場局	TM/TC 子局装置		NTT 専用回線、1999
	(耐雷トランス)		1998 製
	低圧補機盤	吸水槽水位、送水流量、 調整池水位、かんがい流 量	
	変圧器	トランス 3,000kva	
	受電盤		
	変圧器 2 次盤		
	送水ポンプ盤 (1 号～4 号)		
	補機動力一次盤		
	計装盤		基幹水利施設補修事業
	継電気盤 (1 号～4 号)		同上

	低圧補機盤（1号～2号）		同上
	中継端子盤		同上
	保安器箱		同上
	電磁流量計変換器盤		
	自家発電装置		2008 製
	燃料タンク（490ℓ）		
	フロート水位計（吸水槽）		
しばひき 柴引水位局	TM 子局装置		NTT 専用回線、1999 製
	保安器箱		
	分電盤		
	耐雷トランス	0.5KVA	1998 製
	長期自記水位計		
	パンザマスト		
	避雷針		
せんげんやま 千間山雨量局	局舎	2.82×2.02×H2.51	
	TM 子局装置		NTT 専用回線、1999 製
	保安器箱		
	分電盤		
	耐雷トランス	0.5KVA	
	雨量記録計		
	雨量計発信器	転倒ます型（2012）	
	雨量発信器		
	局舎	2.82×2.02×H2.51	

【作業項目内訳表】水管理制御設備実施設計

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業		
1-1 現地調査	実施設計に必要な現地の状況調査を行う。	
1-2 施設管理者への 問診調査	施設管理者(出水平野土地改良区)から、NTT 専用回線、70MHz 帯単信無線回線(以降「NTT 専用回線等」という)の利用状況の聞き取り、資料収集を行う。	
1-3 資料の検討	本地区の機器設置条件及び既設機器の状況と仕様事項等の現地調査及び調査資料、貸与資料等の各種資料の取りまとめを行う。	
2. 通信網状況調査		
2-1 光ケーブル設置 検討調査	NTT専用回線等について、商用光ケーブルへの切り替え可否を調査する。 子局6か所(五万石頭首工局、沖田大井石頭首工局、六月田頭首工局、小原揚水機場局、柴引水位局、千間山雨量局)	
2-2 携帯電話等電波 状況調査	NTT専用回線等について、モバイル回線への切り替え可否の検討のため携帯電話等電波状況を調査する。 子局6か所(五万石頭首工局、沖田大井石頭首工局、六月田頭首工局、小原揚水機場局、柴引水位局、千間山雨量局)	
3. 基本事項の検討		
3-1 水管理制御システム	水管理の内容、本地区の最適な水管理システムとその効果の検討を行う。	
3-2 本地区の水管理 制御方式	主要施設操作の信頼性、安全性、省力化等を考慮した水管理制御システムの範囲、既設中央管理所内への機器最適配置、妥当な管理レベル等について、従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた検討を行う。 また、クラウド選定に当たっては、利用料も考慮して検討を行う。	
3-3 データ伝送方式及 び伝送路	データ信号、操作信号等の最適な伝送方式、伝送システム、本地区に適合する伝送路、機器相互の信号受け渡し方式、無線回線設計、サージ対策等について、従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた検討を行う。	
3-4 計測制御方式	水位、流量、開度等の計測方式と適用機器、本地区に適用する制御方式等の検討を行う。 また、遠隔操作遅延についても検討する。	
3-5 中央管理制御システム	中央システムの構成、収集データと遠方制御項目の選定、データの表示、処理、記録方式、操作卓及び表示装置の構成寸法、機器相互の信号受渡し方式、電源設備等について従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた検討を行う。	
4. 実施設計		
4-1 データ伝送方式及 び伝送路	本地区に適用する伝送方式、局構成と装置、伝送路等について、従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた詳細検討を行いデータ伝送方式及び伝送路を決定する。	
4-2 被管理施設	本地区の個々の施設の操作方式、計測方式と検出器、布線計画、既設機器の改造、局舎計画等の詳細検討と被管理施設の決定を行う。	
4-3 中央管理制御施設	本地区の中央管理所の設置機器、操作室レイアウト等について、従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた詳細検討を行い中央管理制御施設を決定する。	
4-4 機器仕様	本地区設置の仕様について従来方式(オンプレミス)に加え、機能集中方式やクラウド方式等の最新方式を含めた詳細検討を行い機器仕様を決定する。	
5. 実施設計書の作成	水管理制御設備の検討内容を踏まえ、工事実施に必要な実施設計書(設計図面、数量計算書、施工計画等)を作成する。 また、運用中の既設水管理設備の入れ替えとなることから運用に支障のない工事計画の検討を行うものとする。 なお、数量計算書は、土地改良工事数量算出要領(案)に準じて作業を行う。	
6. 概算工事費算定	設置機器リストの作成、機器費、工事費、管理費等の積算資料を作	

	成し、概算工事費を算出する。 なお、概算工事費は土地改良工事積算基準に準じて算出するものとし、資機材の単価見積により決定する場合は適切な機器仕様等を示したうえで、複数者（3社以上）から徴集し適切な価格を採用する。	
7. 国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成	別紙2-3「国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成等内訳表」により、添付図面を含む国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）及び参考資料の作成、取りまとめを行う。 対象施設：子局6か所	
8. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
9. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

別紙2－2

【国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成等内訳表】

大項目	中項目	作成	編集
第1章 目 的		○	
第2章 地域及び地積	第1節 地 域		○
	第2節 地 積	○	
第3章 一般計画		○	
第4章 対象施設の状況		○	
第5章 主要工事計画	第1節 要 旨		○
	第2節 その他の施設		○
第6章 附帯工事計画			○
第7章 工事の着手及び完了の予定時期		○	
第8章 環境との調和への配慮		○	
第9章 事業費の総額及び内訳		○	
第10章 効 用		○	
第11章 関連する事業			—
第12章 現況・計画図面		○	

注1）作成は、国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）及び参考資料を本業務で新たに作成する作業
編集は、前歴事業の事業計画書等から該当する項目を再編集する作業

注2）第8章 環境との調和への配慮についての作業内容は、発注者の貸与する地域の環境配慮関係資料をもとに、地域の環境の現状を整理し、本事業における環境配慮基本方針を取りまとめる作業。

注3）第10章 効用についての作業内容は、本事業の整備対象となる水管理システムを対象として、本事業費を総費用とし、水管理システムが機能喪失した場合に想定される水管理経費や事故防止の緊急応急工事費等の掛かり増し経費を総便益として、総費用総便益比を整理し取りまとめる作業。

注4）国営事故防止事業計画書（緊急防災等工事計画書）（案）作成に当たっては、別紙2－3を参考に作成する。

(参考)

国営事故防止事業計画書記載要領

項目	表番号	記載要領
第 1 章 目的	第 1 表	事業の目的を簡潔に記載する。
第 2 章 地域及び地積		地域とは、本事業の施行に係る地域をいい、〇〇県〇〇市、〇〇郡〇〇町と全ての関係市町村名を記載する。 地積とは、本事業によって受益する土地の面積をいう。 1. 面積は、土地登記簿を原則とするが、それ以外の土地登記簿の情報を反映させていることが明確である各種公的書簿を利用して面積を求めている場合は、土地登記簿に準ずる根拠資料として取り扱うものとする。また、土地登記簿等から面積が得られないものについては、実測又は図測等で面積を計測するものとする。なお、備考欄に引用した根拠資料名、計測方法等について記載する。 2. 市町村別に区分しにくい場合は、市町村名を記載し、面積は一括してもさしつかえない。 3. 単位は 1ha までとする。
第 1 節 地域		
第 2 節 地積		
第 3 章 一般計画		工事の対象となる施設の概要及び工事を必要とする理由を記載する。
第 4 章 対象施設の状況		
第 1 節 用水施設	第 2 表 - 1	造成工期及び造成工事費の欄は基本事業（当該事業の対象となる施設を造成した事業）計画について記入する。
1 貯水池		
2 頭首工		
3 揚水機		
4 用水路	第 2 表 - 2	造成工期及び造成工事費の欄は基本事業（当該事業の対象となる施設を造成した事業）計画について記入する。
5 その他かんがい施設		
第 2 節 排水施設		
1 排水水門		
2 排水機	第 2 表 - 3	造成工期及び造成工事費の欄は基本事業（当該事業の対象となる施設を造成した事業）計画について記入する。
3 排水路		
4 その他排水施設		
第 3 節 その他の施設		
第 4 節 周辺環境	第 2 表 - 4	造成工期及び造成工事費の欄は基本事業（当該事業の対象となる施設を造成した事業）計画について記入する。
第 5 章 主要工事計画		
第 1 節 要旨		
第 2 節 用水施設		
1 貯水池	第 3 表 - 1	様式は第 2 表 - 3 に準ずる。 様式は第 2 表 - 4 に準ずる。
	第 4 表 - 1	工事計画の概要を記載する。 工事の工法、構造、数量等について記載する。

令和 8 年度 施設機能保全検討調査
出水平野地区水管理施設整備検討業務

図 面 目 録

番号	図 面 名 称	枚数	備 考
1	位置図	1	
2	水管理システム構成図	1	
3	地震観測装置配置図	1	
計		3	

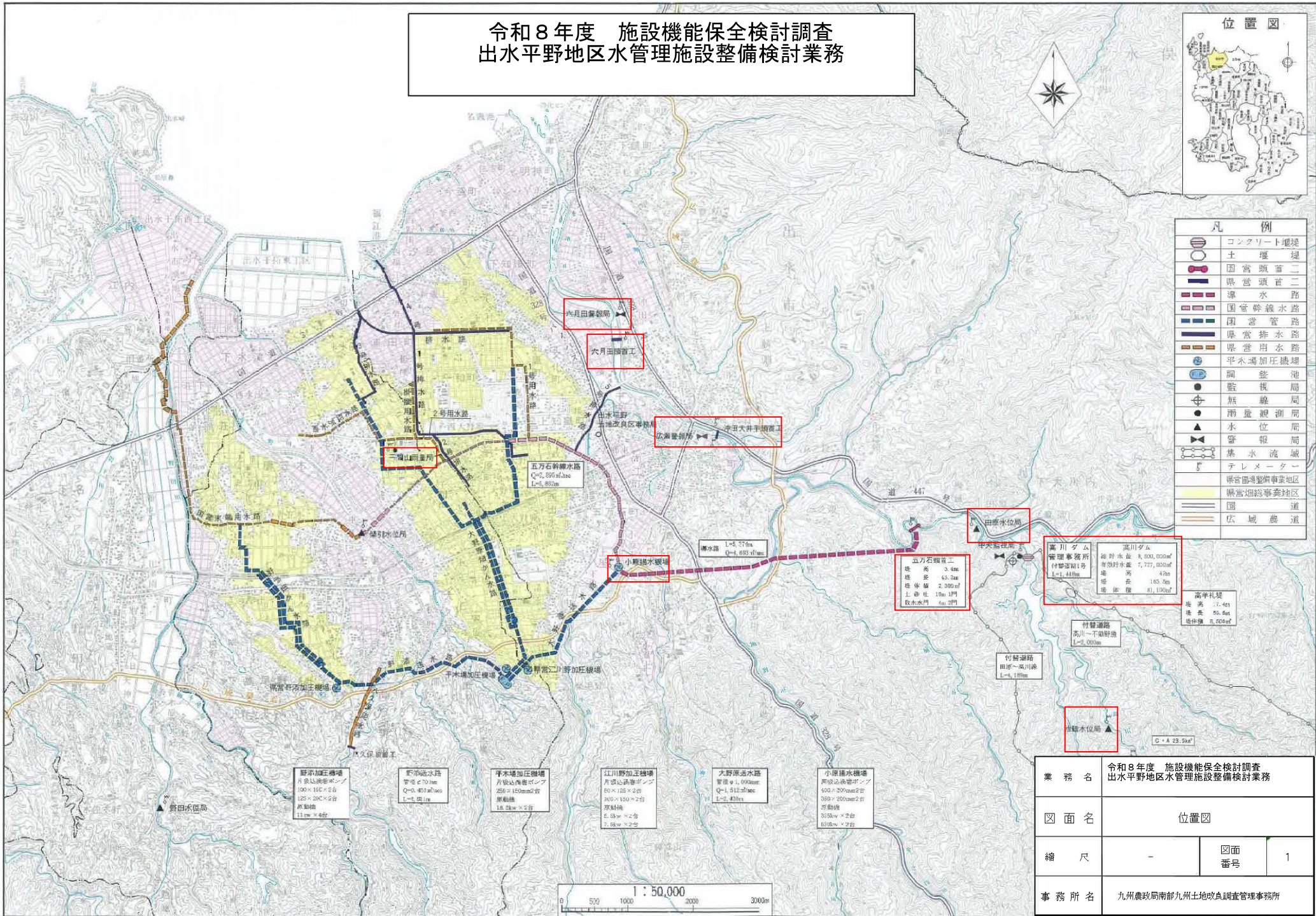
令和8年度 施設機能保全検討調査 出水平野地区水管理施設整備検討業務

位置図



凡例

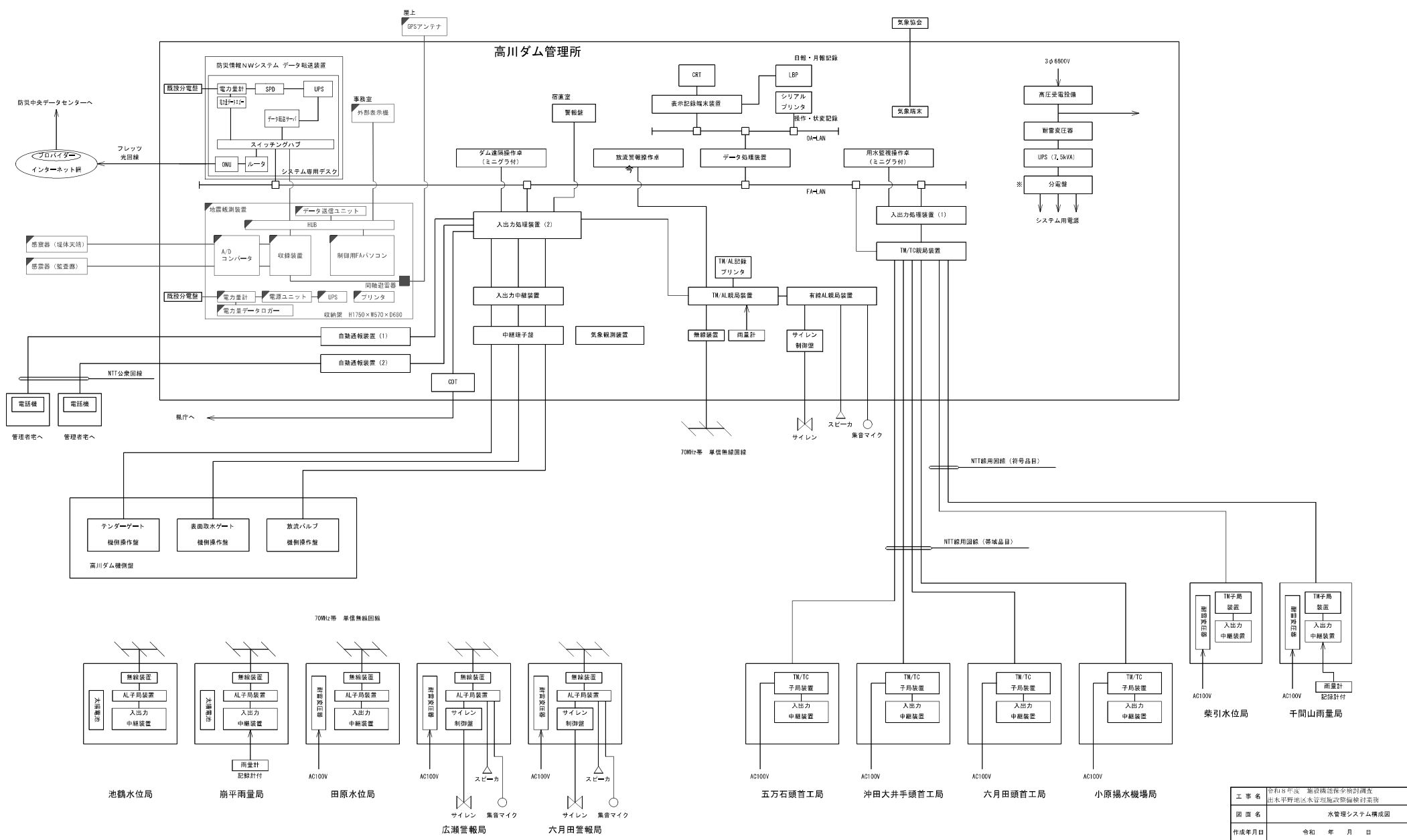
- コンクリート堤防
- 土堤
- 国営第二級河川
- 県営第二級河川
- 水路
- 国営幹線水路
- 国営管渠
- 県営排水路
- 県営用水路
- 平水場加圧機
- 調整池
- 監視局
- 無線局
- 雨量観測局
- 水位局
- 警報局
- 集水流域
- テレメーター
- 県営第二級河川事業地区
- 国
- 広域農道



業務名	令和8年度 施設機能保全検討調査 出水平野地区水管理施設整備検討業務		
図面名	位置図		
縮尺	-	図面番号	1
事務所名	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

「この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平19九規、第365号)」

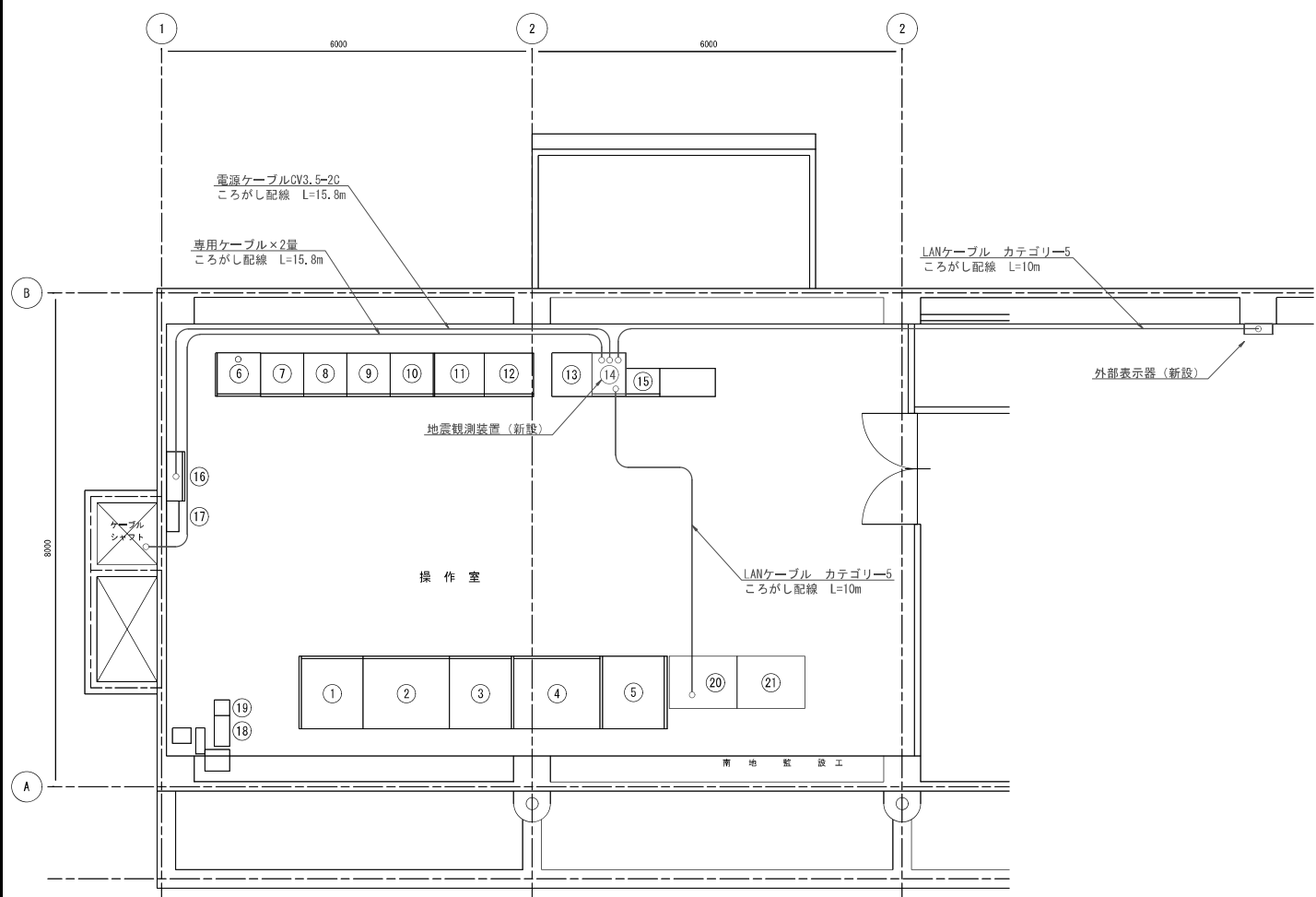
水管理システム構成図
高川ダム



工事名	令和5年度 施設機能保全修繕調査 出水平野地区水管理施設改善修繕計画		
図面名	水管理システム構成図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	—	図面番号	2
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

地震観測装置配置図

高川ダム S=1/40



2階操作室平面図

番号	機器名称	備 考
①	放流警報操作卓	
②	ダム遠隔操作卓	
③	用水監視操作卓	
④	LBP	
⑤	電源監視操作	
⑥	データ処理装置	
⑦	入出力中継装置	
⑧	TM/AL親局装置	
⑨	入出力処理装置	
⑩	TM/TC親局装置	
⑪	TM/AL用シリアルプリンタ	
⑫	シリアルプリンタ	
⑬	気象端末装置（キャスター付きデスク）	デスクの移動（⑬が入るスペースを確保）
⑭	地震観測装置	新設
⑮	気象観測装置	
⑯	分電盤	
⑰	サイレン制御盤	
⑱	柴尾山向け超短波無線電話（出水耕地向け）	
⑲	超短波無線電話（県庁向け）	
⑳	防災情報NWシステム データ転送装置	
㉑	小水力発電監視専用卓	

□：対象外施設

【特記事項】
外部表示器の設置位置は、施設管理者に確認し決定すること。

工事名	令和8年度 施設機能保全検討調査 出水平野地区水管理施設整備検討業務		
図面名	地震観測装置配置図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	1/40	図面番号	3
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		